

車山高原外来植物駆除作業実施要領

1 趣 旨

1970 年代以降、霧ヶ峰においては外来植物の侵入が進み、近年では、特定外来生物のオオハンゴンソウが群落を形成するなど、生態系や景観への影響が懸念されている。

霧ヶ峰自然環境保全協議会では平成 21 年に策定した基本計画に基づき、平成 25 年に保全再生の方針を定めた「霧ヶ峰自然保全再生実施計画」を策定した。令和 5 年度に実施計画の見直しを行い、令和 6 年度からは第 3 次個別作業計画（5 か年計画）の期間に入っている。

本作業はこれらの計画により実施し、効果的に外来植物の駆除を行うことで、多様な植物が生育する草原を保全再生するものである。

2 主 催

霧ヶ峰自然環境保全協議会

霧ヶ峰草原再生協議会

3 参集範囲

車山高原観光協会、北大塩財産区、主催者構成団体及び一般参加者

4 参加人数（目安）

50 人

5 傷害保険の加入

原則として、構成団体保険未加入者は霧ヶ峰草原再生協議会が契約・支出する傷害保険に加入する。

6 フランスギク・ヘラバヒメジョオンの駆除

（1）日 時 令和 7 年 6 月 24 日（火）午前 9 時から正午まで（予定）（予備日 6 月 25 日）
延期の場合は当日午前 8 時までに各団体代表者及び個人へ連絡する。

（小雨決行）

（2）集合場所 車山高原スキー場内 SKY CITY 入口前

（3）駆除範囲 ヘラバヒメジョオンは車山周辺（具体的には当日車山高原観光協会から指示）、
フランスギクは車山周辺ビーナスライン沿い

（4）服装・持ち物

服 装 汚れてもよい服装とし、靴も足元が悪いことを想定した靴とする。

持 ち 物 剪定ばさみ、草抜き、草刈鎌、移植ごて等駆除に必要なもの。

道具については、ある程度主催者で用意する。手袋・お茶も主催者で用意する。

（5）作業手順

① フランスギク・ヘラバヒメジョオンの見分け方、駆除方法について説明を受ける。

② フランスギク班とヘラバヒメジョオン班に分かれる。

③ フランスギクについては各自掘取（抜取）用の道具及びゴミ袋を持って駆除作業を行う。作業がビーナスライン沿いのため通行車両に十分注意し、見張りを必ず付ける。道路使用については、あらかじめ道路管理者及び警察署に所定の手続きを行う。駆除作業においては在来植物の損傷等に十分注意し、掘り取った跡は必ず埋めて土壌のかく乱を

最小限にする。

- ④ ヘラバヒメジョオンについては基本的には地際から剪定ばさみによる刈取を行う。駆除作業においては在来植物の損傷等に十分注意する。
- ⑤ ゴミ袋が一杯になったら密閉して運搬車両に積み込む。収集した外来植物は茅野市清掃センターで重量を計測の上、焼却処分とする。

7 留意事項

- ・休憩を適宜取り、給水を行うなど熱中症に注意する。また、足元が悪い場所もあるため、ケガに十分注意して作業を行う。
- ・万が一病気やケガの発症があった場合は、協議会事務局員（諏訪地域振興局環境課職員）に申し出る。